

アキュラホーム社会貢献活動『木望^{きぼう}の未来プロジェクト』 間伐材を採用した小学校学習用机の天板を16校に寄贈 木に触れ、木の優しさを伝える出張授業も開催

木造注文住宅を手がける株式会社アキュラホーム（本社：東京都新宿区 社長：宮沢俊哉）は、木の素晴らしさを子どもたちに伝える活動「木望（きぼう）の未来プロジェクト」として、2011年度、16の小学校に対し間伐材を採用した小学校学習用机の天板1981枚を寄贈しました。また、そのうち7校で木の良さを伝える出張授業を行い、児童たちはかんながけなどを体験しました。

■ 「木望の未来プロジェクト」活動背景

アキュラホームでは、木の家を提供する企業として「木の素晴らしさ」「物の大切さ」「物づくりの楽しさ」を、次代を担う子どもたちに伝えていきたいと考え、2010年より「木望の未来プロジェクト」をスタートさせました。

※「木」と「希望」を組み合わせ「木望（きぼう）の未来プロジェクト」と名づけました

天板交換前



天板交換後



活動内容は、間伐材を加工し製作した小学校学習用机の天板（以下 天板）を小学校に寄贈して古い机を再生します。児童には生活の様々な場面で“木を大切にする気心”を伝えたいという思いから、天板を交換した机を「木ごころ机」と名づけています。また、出張授業「カンナ社長のふれあい授業」を実施し、木の良さ・森林の大切さを伝える講演とカンナがけ体験を行います。

児童は授業を通して自然環境を学び、木に直接触れることで木の温もりと優しさを知る機会となります。



KIDS
DESIGN
AWARD

「キッズデザイン賞」受賞

2011年には、子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン、創造性と未来を拓くデザイン、そして子どもたちを産み育てやすいデザインを顕彰する制度、「第5回キッズデザイン賞」の『フューチャーアクション部門』（子どもの健全な育成、五感や感性の発達に寄与するもの）として本活動が受賞しました。

■ 活動実績

第1期(2010年度)は4小学校に計565枚の天板を寄贈し、3校で出張授業「カンナ社長のふれあい授業」を実施。2期目となる2011年度は、その輪を当社支店とグループ会社「オカザキホーム」、工務店ネットワーク「ジャープネット」会員の「山里建設」に広げ、16の小学校に計1981枚を寄贈、7校で出張授業を実施しました。

——実施地域——

群馬県高崎市、埼玉県熊谷市、川越市、桶川市、吉川市、東京都武蔵野市、多摩市、神奈川県横浜市、千葉県白井市、我孫子市、静岡県浜松市、愛知県丹羽郡、岡崎市、大阪府大阪市、広島県東広島市



2011年12月に浜松市立西小学校で実施した出張授業の様子

当社は地域に恩返しするとともに豊かな社会形成に貢献するため、今後も木望の未来プロジェクトをはじめとした社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。

<本件について報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越・若林 Email: horikosi@aqura.co.jp

住所：東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル34F TEL:03-6302-5010（直通）FAX:03-5909-5560

●写真データは右記よりダウンロードすることができます。 <http://www.aqura.co.jp/news.html>

■ 間伐の重要性

日本は国土の67%が森林に覆われている世界有数の森林国家です。そしてその4割が人工林です。人工林の役割は木材を採ること以外にも、水源確保、自然災害防止、地球温暖化防止など多岐にわたります。しかし、昨今では人工林の間伐が行われずに放置され、木々が健全に生育できずに荒廃が進んでいます。

間伐が行われない理由は、間伐材※は細く未成熟材のため主伐材よりも用途が限られることや、安価な輸入木材が多く出回るることによって、需要が減少していることが挙げられます。そのため森林経営の採算が取れなくなり放置されてしまうのです。さらに、間伐してもその多くが使用されずに破棄されています。当社はこうした状況を踏まえ、間伐材を積極的に採用することによって、環境保全や地球温暖化防止の一助となればと考えています。

また、この活動を通して間伐材利用の啓発を行っていきます。

※ 間伐材：森林の木が成長するため間引き（木々の間隔を広くするため一部の木を伐採）された木材

■ 木望の未来プロジェクトの基本方針

- ・ 当社は30周年を機に、新たな企業活動として地域とそこに暮らす皆様に、当社らしいかたちで恩返しをすると共に、豊かな社会形成に貢献していきます。
- ・ 当社行動原則（家づくりを通して、環境問題に取り組みます）とこれからの住宅事業者のあるべき姿として、地域環境に貢献する活動を積極的に行っていきます。
- ・ 当社が最も大切にしてきた「モノづくり」の文化、技術という無形な財産を、次代を担う子どもたちに伝えていきます。

■ 埼玉の木づかいCO₂貯蔵量認証制度の認証を取得

埼玉県産木材を使用した木造住宅の建築や内装木質化を行う施主及び事業者などに対して、県産木材利用による環境貢献度を県が評価し、社会全体でCO₂削減・県産木材の利用促進に取り組む意識の醸成を図る制度、埼玉の木づかいCO₂貯蔵量認証制度を取得しました。

※小学校学習用机の天板は木製品分野では初の認証

■ 出張授業「カンナ社長のふれあい授業」活動レポート

日時：2011年12月21日(水) 10:00~10:45

場所：静岡県浜松市立西小学校

対象：5年生 52名

実施内容：社長の宮沢の講演とかんながけ実演、児童によるカンナがけ体験



元大工で「カンナ社長」の愛称を持つ当社社長宮沢の講演では、森林や間伐材の話を通して、児童たちに「木の良さ」「物の大切さ」を五感で体感して欲しいと説明。講演後のカンナがけ実演では、社長の宮沢がかんながけを披露しました。

普段目にするものがないかんながけに、児童たちは身を乗り出すように見つめ、きれいな削り華（カンナくず）が出るたびに「おおー」と歓声が上がりました。

そして3台のカンナ台を使って児童たちもかんながけを体験しました。カンナ台や削り華に触れた児童たちは、「いい香り」「すべすべする」「きれい」とヒノキの香りや手ざわりを楽しんでいるようでした。



※授業を受けた児童たちと当社スタッフで集合写真を撮影